

「発達が気になる子どもへの支援について」 講演会を開催しました!

平成29年5月20日(土)イーフ情報プラザにおいて、国立成育医療研究センターこころの診療部長小枝達也先生による講演会を開催したところ100名余りの方にご参加いただきました。小枝先生は日本の発達障害児診療をリードされており、町民の関心の高さがうかがえました。この講演会の中で以下の点を小枝先生は強調していました。

- ①注意欠陥多動性障害や自閉スペクトラム障害、学習障害などの発達障害とは本人の性格や努力不足でもなく、保護者の育て方が原因でもなく「脳機能の発達にでこぼこがあるために起こる病気」と考えられている。
- ②これらの障害(病気)は早めの治療が大切であり、その治療法は「子どもの特性に合わせた対処法」である。
- ③対処法とは、子どもの自尊心を傷つけたり、追いつめるように叱ることは逆効果。言うことを聞かない子には「近づいて、静かに、おだやか



に」話すといい。叱るよりも取るべき行動のモデルを示し、こまめに褒める。自閉スペクトラム障害の子どもには「見てわかる工夫」「終わりの予告、次の行動の予告」をして安心感を与えることが効果的。

- ④よき人間関係が指導の前提である。
- ⑤満足する日々が子どもを育てる。

ということでした。他にも内容盛りだくさんの講話でした。次年度も小枝先生をお呼びして講演会を検討していますので、その際には町民みなさまのご参加をお願いします。

● 離乳食学習会について ●

お子さんの月齢数に応じて初期・中期・後期・完了期の4期に分けて離乳食学習会を行っています。この学習会では栄養士と一緒に子どもノートを用い離乳食について(実際の量、固さなどなど)同世代の子をもつお母さん同士一緒に学びます。お母さん方の学習中は、別室で母子保

健推進員による託児があり、安心して学習を行うことができます。試食会、保健師による講話もあり、盛りだくさんの内容となっています。

今年度は偶数月に開催予定です。対象者へ通知しますので、ご参加お待ちしております。



【平成29年度】障害者家族会総会

5月23日(火)老人福祉センターにて、平成29年度障害者家族会総会が行われました。当事者・家族関係者合わせて76名の参加があり、そ



こでは平成28年度決算報告・平成29年度予算案・役員改正について報告がありました。役員改正については、13年間障害者家族会会長を務めました島袋朝栄氏から新会長稲嶺ケイ子氏への引継ぎが行われ、地域活動支援センターさくら仲村その子さんより「島袋会長、13年間ありがとうございました。」と労いの言葉が送られました。総会終了後は、懇親会がおこなわれ、幕開け「かぎやで風」をはじめ、琉舞・三線・手話ソングなど盛りだくさんの余興があり、最後は参加者全員で「カチャーシー」を踊り楽しい時間を過ごすことができました。

福祉課
☎985-7124